

6. むすび

本プロジェクトは本年度が最終の事業年度であり、平成 25 年度に開始し 7 年を経過し、終了した。

サブテーマ 1 「海域断層に関する既往調査結果の収集及び海域断層データベースの構築」ではこれまで、日本海、南西諸島、伊豆・小笠原諸島および南海トラフの海域において取得された地震探査データ等の既往調査資料収集を行い、サブテーマ 2 における断層解釈や速度構造モデリング、サブテーマ 3 における断層モデル構築等の結果とともに、それらを閲覧できるデータベース（公開 DB）の構築に取り組んできた。本年度、公開 DB は拡充と試験運用・仮運用を経て、完成した。

サブテーマ 2 「海域における既往探査データ等の解析及び統一的断層解釈」では、サブテーマ 1 で収集された反射法・屈折法地震探査データに対し再処理、速度解析等の再解析を行い、断層解釈と三次元速度構造モデリングを実施した。これまで日本海、南西諸島、伊豆・小笠原諸島および南海トラフの各海域に分布する断層の同定とその情報カタログの作成を行った。

サブテーマ 3 「海域における断層モデルの構築」では、サブテーマ 2 で作成された断層情報カタログに基づき、これまで日本海、南西諸島、伊豆・小笠原諸島および南海トラフの各海域を対象に断層モデルの構築、ならびに一部の主断層を対象に地震動と津波のシミュレーションを行い、構築した断層モデルの妥当性を検証した。

以上のように、本プロジェクトは事業計画どおりに推進され、サブテーマ 1、2、3 いずれの業務も本年度にて完了した。